

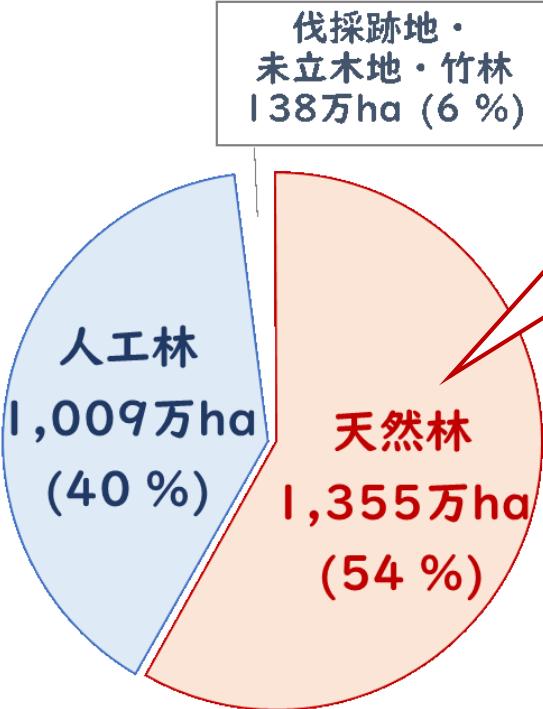
“好きな木は何ですか？”

1980年代

黒 … 原生的植生
灰色… 人工林

(出典:鈴木牧ら「人と生態系のダイナミクス
2森林の歴史と未来」朝倉書店)





(出典:林野庁「森林資源の現況」
令和4年3月31日現在)

- 輸入広葉樹材の価格高騰や流通減少で、国産広葉樹材の需要拡大
- 奥山からの収奪林業が続くと国内の良質資源の枯渇、生態系劣化

大部分は、かつて人が農用・薪炭林として利用していた林が、その後自然に育った 二次林

- 地域の原生植生に戻らない
- 里山に特有の生物の消失
- ナラ枯れの大規模発生を冗長
- 防災面での管理の必要性

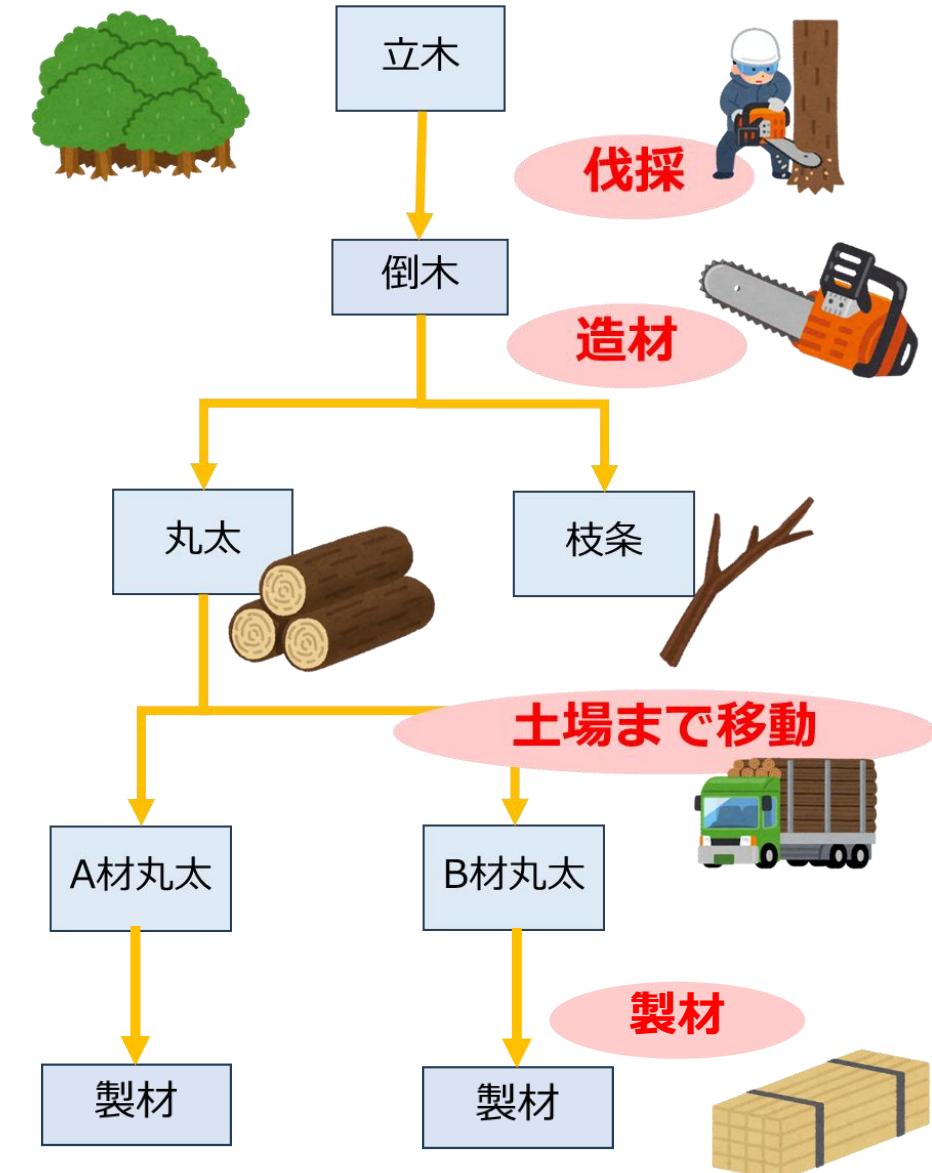
有用広葉樹材として
資源(用材)利用

森の整備・管理

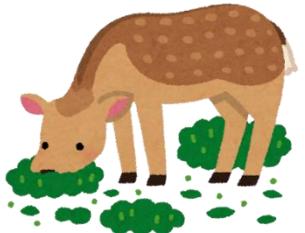
里山・農用林・都市林における 広葉樹資源の利用可能性を実証的に調査

- ・ どんな種類の樹木が
どれくらい、どこにあるのか？
- ・ どんな樹木から
どれくらいの丸太や製材がとれるか？
- ・ どんな行程で実現可能？

“相場観” を醸成するための基礎データ



伐採後にどのような森林が再生するのか？ どのような森林に育てるのか？



『使う』と『育てる』は表裏一体



森林の多面的機能 ~ 経済財であり、環境財である森林~



人の生業と結びついた地域生態系

人間活動も含めた森林生態系の理解

出典:日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかる農業及び森林の多面的な機能の評価について」及び同関連付属資料(平成13(2001)年11月)
注:金額は一部の機能の貨幣評価額

貨幣評価できる一部の機能だけでも年間70兆円

(出典:林野庁「平成30年度 森林・林業白書」)

